

雌阿寒岳

1 概況（平成 14 年 4 月）

今期間は静穏に経過しましたが、長期的に見ると時々地震が増加し火口の温度は高温を維持するなど火山活動は高いレベルが続いています。

2 地震活動の状況

火山性地震の増加や火山性微動はありませんでした。地震回数は 1 日あたり 0～3 回で推移しました。

月別地震・微動回数（B 点）

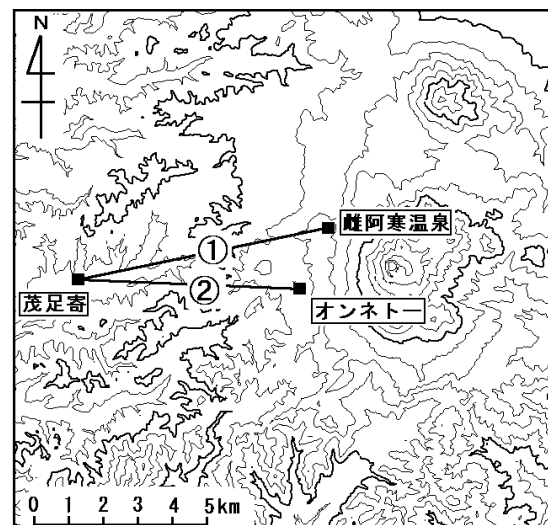
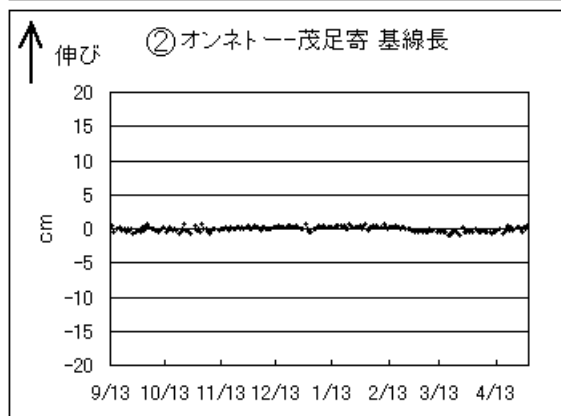
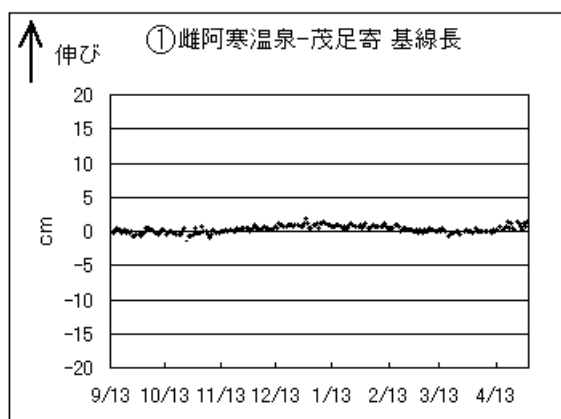
平成 13～14 年	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月
地震回数	144	59	181	242	53	29	56	18	21	39	204	16
微動回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0

3 噴煙活動の状況

ポンマチネシリ 96-1 火口の噴煙は火口上 100～300m で推移し、その他の火口についても特別な変化はありませんでした。

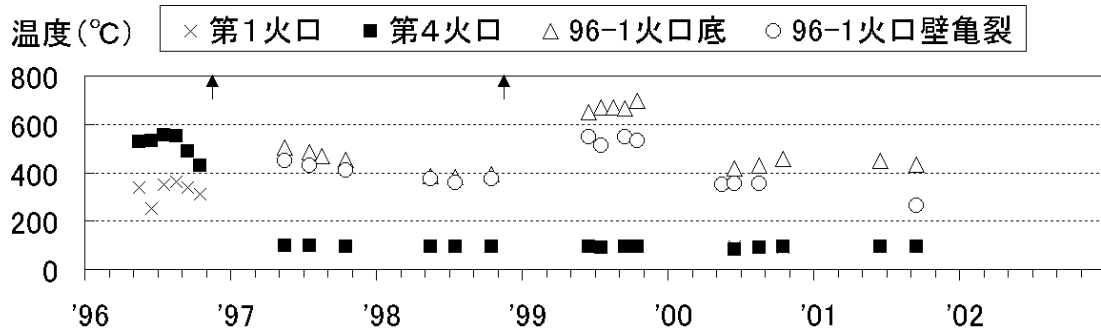
4 地殻変動の状況

G P S 観測では、火山活動に起因すると考えられる特別な変化はありませんでした。

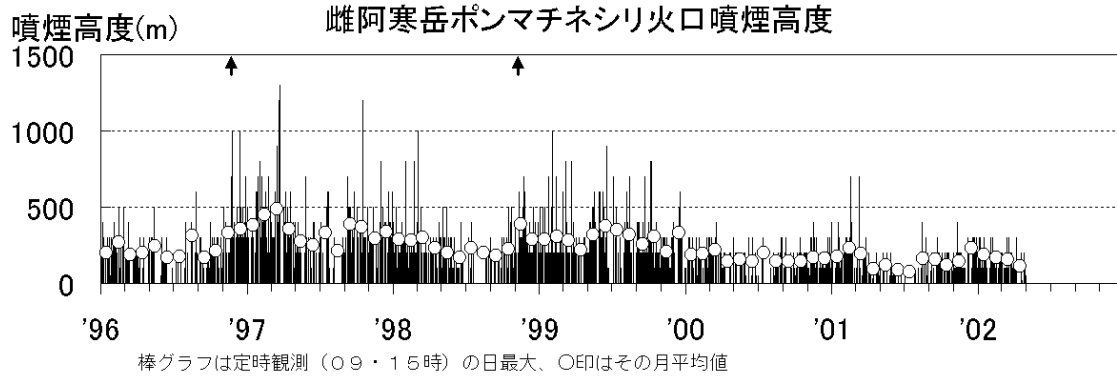


雌阿寒岳基線長グラフ（2001 年 9 月 13 日～2002 年 4 月 30 日）

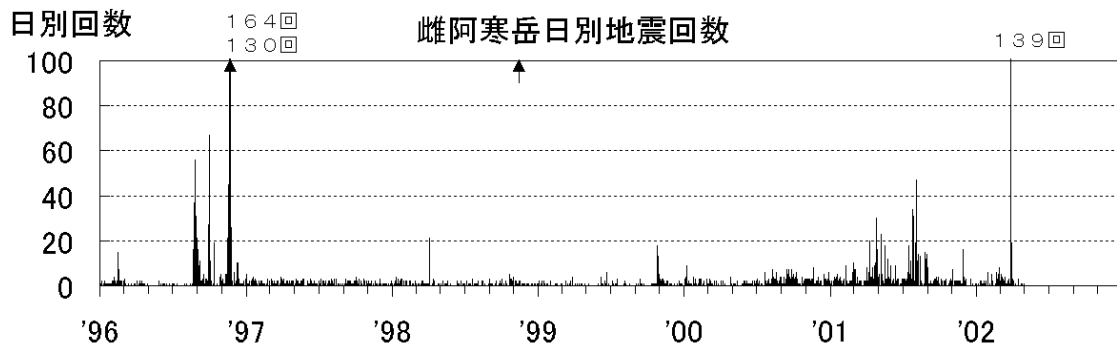
雌阿寒岳ポンマチネシリ火口温度



雌阿寒岳ポンマチネシリ火口噴煙高度



雌阿寒岳日別地震回数



雌阿寒岳火山活動経過図（1996年1月1日～2002年4月30日）↑印は噴火